



としょかんだより

令和5年3月号
仁田佐古小学校図書館

3月に入り、あたたかな春が、そこまできています。



仁田佐古小学校図書館では、みなさんに、すてきな春をおとどけできるよう、「春」や

「卒業」にかんする本をあつめています。ぜひ読んでみてくださいね。

No image

『スミレとアリ』

多田多恵子:監修 偕成社

はるになると、どうろの アスファルトの すきまなどに、スミレの花が、さきはじめます。「どうして、こんなところにスミレは、さいているのだろう？」と、おもった人は いませんか？

そのひみつは、スミレのたねに あります。スミレの実は、はじけて たねをとばしますが、それだけではありません。そのたねは、アリの ひきよせるのです。でもどうやって・・・？

さあ、みなさん、この本で、そのひみつを たしかめてみてください。そして スミレの花をみつけたら、たねができるまで、じっくりみてみましょう！



『ぼくとがっこう』

谷川俊太郎：文 アリス館

うちにいると、ぼくは、ぼくでいられるが、がっこうにいくとぼくは、おおぜいのなかの、ひとりになる。がっこうには、すきなともだちもいれば、きれいなともだちもいる。がっこうに、いきたくないひがあったり、がっこうが、たのしいひがある。そしていつか、がっこうと、わかるひがくる。

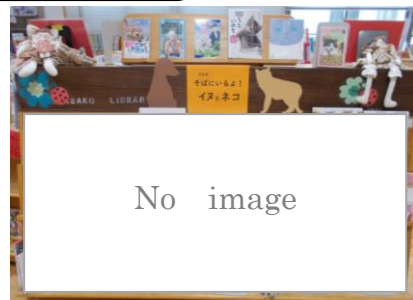
ぼくは、すこしずつ、おおきくなって、やがて、がっこうをそつぎょうします。いま、がっこうにかよう、すべての人に、よんでほしい本です。

No image



きみのそばにいるよ！イヌとネコ

みんながだいすきな、イヌとネコがでてくる本をあつめました。ずかんや、かいかたの本、ものがたりなど、どれも、よんでほしいものばかりです。みんなのそばにいるイヌやネコのことを、もっとわかるようになりますよ。



いぬぶ きたさとだいがくじゅういがくぶ 『犬部～北里大学獣医学部～』

片野ゆか：作 ポプラ社

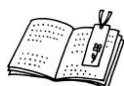
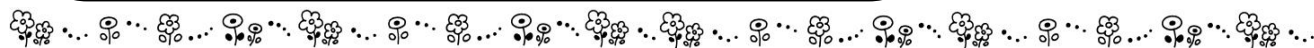
すてられた犬やねこを保護して、新しい飼い主をさがす活動をする犬部。将来、動物のお医者さんになるために学んでいる学生たちが、すてられた犬やねこを、自分たちの家で世話します。「ここにいていいんだよ」「安心してねむっていいよ」と伝えるために、寝る間もおしんで見守ります。

人間の都合で、すてられた動物たちと、ひっしでそれを救おうとする未来の獣医師たちの、本当にあった感動の物語です。ぜひ、読んでみてください。高学年におすすめです。



『明けない夜はないから』 松田素子：編 フェリシモ出版

2011年3月11日、東日本大震災が発生しました。そして震災の後、ひとつの歌がうまれました。それは「明けない夜はないから」。この本には、震災にあったこどもたち、それぞれの思いがつまっています。いつまでも忘れないように、みんなでつないでいきましょう。ぜひ読んでみてくださいね。



としょかん
図書館からのお知らせ～本の返却について～



6年生は、3月3日(金)、1年生～5年生は、3月10日(金)までにすべて本をかえしましょう。また、バーコードのついた本を、まちがってもちかえっていないか、いちど、かくにんしましょう。